

# 令和6年度 学校評価実施報告書

幼稚園名（ 待賢 幼稚園）

教育目標	
「自分で考え、自分で動き、意欲をもって遊ぶ子どもの育成」	
自己評価	○自己を発揮する子ども　　○人とつながることを喜ぶ子ども　○主体的に遊ぶ子ども
年度末の最終評価	
自己評価	教育目標の達成状況、次年度に向けた見直し
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

## 学校関係者評価の評価日・評価者

	評価日	評価者
中間評価	令和6年10月21日	学校運営協議会理事
最終評価		

## （1）幼稚園教育（保育の改善・充実）について

具体的な取組	
・少人数保育の中で子どもの育ちを豊かにするために ～計画的に異年齢での関わりを捉える～ ・週計画案と保育実践、評価の連動（PDCA）から、日々の保育の充実を図る。	

## （取組結果を検証する）各種指標

- ・幼児の遊ぶ姿の変容・週案の反省、評価の記述・事例検討
- ・アンケート項目「子どもは自分の思いを出しながら、友達と遊んだり生活したりしている」「子どもは安心して幼稚園に通っている」「子どもは、幼稚園で遊ぶことを楽しみにしている」「子どもは、幼稚園で身近な動植物に興味・関心をもって過ごしている」

## 中間評価

各種指標結果
--------

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の遊ぶ姿の変容・週案の反省、評価の記述・事例検討</li> <li>・アンケート項目           <p>「子どもは自分の思いを出しながら、友達と遊んだり生活したりしている」…100%</p> <p>「子どもは安心して幼稚園に通っている」…100%</p> <p>「子どもは、幼稚園で遊ぶことを楽しみにしている」…100%</p> <p>「子どもは、幼稚園で身近な動植物に興味・関心をもって過ごしている」…100%</p> </li> </ul>
自己評価	<p><b>分析（成果と課題）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者が目指す子ども像を見据え、願いや意図をもって環境構成したり、子どもの遊びを援助したりすることで、主体的に遊ぶ子どもや他者と折り合いをつける子どもを育む保育につながっている。</li> <li>・少人数保育の中で、子どもの育ちを豊かにするために、異年齢での関わりの場面をとらえ、見取り評価することで、子どもの変容や保育の改善につながりつつある。</li> </ul> <p><b>分析を踏まえた取組の改善</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数保育の中で、異年齢での関わりの場面をとらえ、見取り評価することを通して、子ども理解を深め、子どもの豊かな学びにつながる取組を進めていく。</li> </ul> <p><b>(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の遊ぶ姿の変容・週案の反省、評価の記述・事例検討</li> <li>・アンケート項目「子どもは自分の思いを出しながら、友達と遊んだり生活したりしている」「子どもは安心して幼稚園に通っている」「子どもは、幼稚園で遊ぶことを楽しみにしている」「子どもは、幼稚園で身近な動植物に興味・関心をもって過ごしている」</li> </ul>
学校関係者評価	<p><b>学校関係者による意見・支援策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数になると、異年齢の子どもたちが関わり合う異年齢保育をせざるを得ないというとらえではなく、異年齢の中で子どもたちの豊かな育ちを育むという積極的にとらえる研究実践は、重要な柱となっている。</li> <li>・現在、核家族化が進み、兄弟も少なくなり、地域の公園などでの異年齢の子どもたちの関わり合いも稀有になってきている状況で、少人数保育幼稚園での異年齢保育は、子どもの豊かな学びと健やかな成長のために必要な取組であると評価している。</li> </ul>

#### 最終評価

	<p><b>(中間評価時に設定した) 各種指標結果</b></p>
自己評価	<p><b>分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題</b></p>
学校関係者評価	<p><b>分析を踏まえた取組の改善</b></p> <p><b>学校関係者による意見・支援策</b></p>

#### (2) 架け橋期の教育の充実に向けた幼保小連携・接続に関して

### 具体的な取組

- ・年間交流計画の作成
- ・通園区域内にある幼保小中学校への保育公開及び合同研修
- ・架け橋期のカリキュラムの作成と検討
- ・「親子で絵本！」の取組の定着

### (取組結果を検証する) 各種指標

- ・交流の事前・事後の検討
- ・公開保育及び合同研修の実施
- ・「親子で絵本！」のノート活用度
- ・アンケート項目「子どもは“親子で絵本！”の取組を楽しんでいる」「幼稚園は、小中学校や地域、家庭とのつながりを大切にしている」

### 中間評価

#### 各種指標結果

- ・二条城北小学校交流…幼小連携接続会議、小学校運動会見学会
- ・二条中学校交流…チャレンジ体験
- ・上京中学校交流…チャレンジ体験
- ・「親子で絵本！」のノート活用度
- ・アンケート項目  
「子どもは“親子で絵本！”の取組を楽しんでいる」…87.5%  
「幼稚園は、小中学校や地域、家庭とのつながりを大切にしている」…100%

### 自己評価

#### 分析（成果と課題）

- ・7月末今年度の幼小連携の取組を計画し、二条城北小学校運動会リハーサルを見学し、子どもを中心に交流することができた。
- ・二条中学校と上京中学校のチャレンジ体験で中学生と園児との交流する場と時間を保障することができた。
- ・“親子で絵本”が、87.5%の結果から、「ほっこり子育て広場」や「保護者懇談会」などを通じて、「親子読書」の取り組み方についても話し合える場を保障するようとする。

#### 分析を踏まえた取組の改善

- ・二条城北小学校の学習発表会の見学や生活科の学習交流、入学前の給食試食会やビデオレターなど、幼小連携接続の取組を進める。
- ・近隣の就学前施設と二条城北小学校に働きかけて、1月31日に本園で幼保小連携接続公開保育研修会を実施する。

#### (最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標

- ・交流の事前・事後の検討
- ・公開保育及び合同研修の実施
- ・「親子で絵本！」のノート活用度
- ・アンケート項目「子どもは“親子で絵本！”の取組を楽しんでいる」「幼稚園は、小中学校や地域、家庭とのつながりを大切にしている」

学校 関 係 者 評 価	学校関係者による意見・支援策
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小1の壁、不登校になっている児童の就学前施設での子どもの情報をフィードバック共有できる幼保小連携接続という子どもを中心に据えた実質的で強固な連携接続を強く望む。</li> <li>・二条城北小学校で絵本の読み聞かせボランティア派遣している状況にあって、地域の子どもたちを地域で見守り育む取組の体制を維持していきたい。</li> </ul>

#### 最終評価

	(中間評価時に設定した) 各種指標結果
自己 評 価	分析 (成果と課題)、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
学校 関 係 者 評 価	学校関係者による意見・支援策

#### (3) 預かり保育に関して

	具体的な取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の興味に応じた遊びをゆったりと安心して楽しく過ごせる環境構成を行う。</li> <li>・教育課程内の活動と連動した遊びや季節感のある活動内容を取り入れる。</li> <li>・地域人材の活用</li> </ul>	
	(取組結果を検証する) 各種指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・預かり保育参加人数</li> <li>・預かり保育担当者と担任による教育課程内の活動や家庭との連携の振り返り。</li> <li>・アンケート項目「子どもの興味に応じた遊びを、ゆったりと安心して楽しく過ごしている」</li> </ul>	

#### 中間評価

	各種指標結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・預かり保育参加人数…18人中18人参加</li> <li>・預かり保育担当者と担任による教育課程内の活動や家庭との連携の振り返り。</li> <li>・アンケート項目 「子どもの興味に応じた遊びを、ゆったりと安心して楽しく過ごしている」…100%</li> </ul>	
自己 評 価	分析 (成果と課題)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4歳児11名、5歳児7名のどちらも少人数学級であり、保護者の多くは、異年齢の子ども同士の関わりや同性の子ども同士の関わりなどを預かり保育に期待されているなか、18名全員預かり保育を経験できた。</li> <li>・預かり保育担当者と担任で、個々の子どもの様子や家庭との連携など情報共有し取組に生かすことができた。</li> <li>・外部講師による預かり保育サッカーエクスペリエンスの日の預かり保育参加者が多かった。</li> </ul>

学校 関 係 者 評 価	<p><b>分析を踏まえた取組の改善</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・預かり保育時の子どもの遊びや子ども同士の関わりを豊かにするために、外部講師を招いた預かり保育サッカ一体験の取組も続けていくようとする。</li> </ul> <p><b>(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・預かり保育参加人数</li> <li>・預かり保育担当者と担任による教育課程内の活動や家庭との連携の振り返り</li> <li>・アンケート項目「子どもの興味に応じた遊びを、ゆったりと安心して楽しく過ごしている」</li> </ul>
	<p><b>学校関係者による意見・支援策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・預かり保育 1 時間当たり 100 円で、保護者としては大助かりである。</li> <li>・異年齢の子どもたちと自然な形で出会い、関わり合って仲良くなっている。</li> </ul>

#### 最終評価

自己 評 価	<p><b>(中間評価時に設定した) 各種指標結果</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; padding: 5px;">分析 (成果と課題)、重点目標の達成状況、次年度の課題</td></tr> <tr> <td style="padding: 5px;">分析を踏まえた取組の改善</td></tr> </table>	分析 (成果と課題)、重点目標の達成状況、次年度の課題	分析を踏まえた取組の改善
分析 (成果と課題)、重点目標の達成状況、次年度の課題			
分析を踏まえた取組の改善			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; padding: 5px;">学校関係者による意見・支援策</td></tr> </table>	学校関係者による意見・支援策		
学校関係者による意見・支援策			

#### (4) 子育ての支援について

中間評価	<p><b>具体的な取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未就園児親子を対象とした教育相談の実施</li> <li>・幼稚園生活や保育内容説明会での先輩ママと触れ合い</li> <li>・未就園児親子を対象とした、在園児や 地域の方と触れ合える取組 (七夕のつどい、運動会、楽しいつどい、水遊びへの参加など)</li> <li>・身長や体重を測り、親子で成長を喜び合う。</li> </ul> <p><b>(取組結果を検証する) 各種指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援の取組の回数や参加人数、教育相談件数</li> </ul>
	<p><b>各種指標結果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未就園児との交流…親子遠足 (植物園)、避難訓練、運動会に参加</li> <li>・子育て支援の取組の回数…28 回 (4 月～9 月) ※R5 年度 30 回</li> <li>・ひよっ子クラブ参加人数…のべ 171 人、1 回あたり 6.1 人 (4 月～9 月) ※R5 年度のべ 143 人、1 回あたり 4.8 人 (4 月～9 月)</li> <li>・教育相談 (いちご組) 件数…81 件 (4 月～9 月) ※R5 年度 84 件</li> </ul>

#### 中間評価

最終評価	<p><b>各種指標結果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未就園児との交流…親子遠足 (植物園)、避難訓練、運動会に参加</li> <li>・子育て支援の取組の回数…28 回 (4 月～9 月) ※R5 年度 30 回</li> <li>・ひよっ子クラブ参加人数…のべ 171 人、1 回あたり 6.1 人 (4 月～9 月) ※R5 年度のべ 143 人、1 回あたり 4.8 人 (4 月～9 月)</li> <li>・教育相談 (いちご組) 件数…81 件 (4 月～9 月) ※R5 年度 84 件</li> </ul>
	<p><b>学校関係者による意見・支援策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・預かり保育 1 時間当たり 100 円で、保護者としては大助かりである。</li> <li>・異年齢の子どもたちと自然な形で出会い、関わり合って仲良くなっている。</li> </ul>

自己評価	<b>分析（成果と課題）</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月中旬からほぼ毎月曜日と木曜日（10：00～11：30）は、子育てボランティアの協力により、未就園児0歳～5歳のひよっ子クラブや3歳未就園児親子のいちご組（月曜日～金曜日の9：00～11：30、9：00～13：40）を通して、子育て支援に関わる教育相談を継続して実施することができた。</li> <li>・月曜日～金曜日9：30～15：00（12：00～13：00を除く）の園庭開放は、降園時の短時間利用が少なくなかった。</li> </ul>
	<b>分析を踏まえた取組の改善</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未就園児親子を対象とした子育て支援の取組については、ホームページや地域へのチラシ・ポスターの配布、区役所のチラシ配架など、広報活動を継続して取り組む。</li> <li>・公立幼稚園プロモーションビデオ配信やQRコードを掲載など、情報発信する。</li> </ul>
	<b>（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援の取組の回数や参加人数、教育相談件数</li> <li>・未就園児保護者に対するアンケート実施</li> </ul>
学校関係者評価	<b>学校関係者による意見・支援策</b>

#### 最終評価

自己評価	<b>（中間評価時に設定した）各種指標結果</b>
	<b>分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題</b>
	<b>分析を踏まえた取組の改善</b>
学校関係者評価	<b>学校関係者による意見・支援策</b>

#### （5）地域とのかかわり（社会に開かれた教育課程）について

<b>具体的な取組</b>	○学校運営協議会3企画委員会の取組の検証
	<p>A. 親子の学びプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もちつき、絵本室の整備・貸出、子育て支援センターとしての活動等を行う。</li> </ul> <p>B. からだ元気プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子遠足、運動会の競技、冬のマラソン等を行う。</li> </ul> <p>C. 連携プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼小交流、中学校チャレンジ体験受け入れ、グリーンストア等を行う。</li> </ul>

○地域資源を活かした指導計画作成

(取組結果を検証する) 各種指標

- ・交流の回数や地域の方々の声
- ・アンケート項目 「子どもは幼稚園の取組で地域や地域の方に親しみをもっている」

中間評価

各種指標結果

- ・グリーンストア…地域の方々と花や野菜の苗をプレゼントする交流
- ・7月5日七夕の集い…地域のお年寄りとの交流
- ・二条城北小学校交流…幼保小連絡会、1年体育授業参観
- ・二条中学校交流…チャレンジ体験
- ・上京中学校…チャレンジ体験
- ・アンケート項目

「子どもは幼稚園の取組で地域や地域の方に親しみをもっている」…87.5%

自己評価

分析 (成果と課題)

- ・グリーンストアや七夕の集いの地域の人々や保護者の方々との交流を通じて、言葉のやり取りや一緒に物を作るなど、子どもの学びの場となった。
- ・地域にある小中学校の児童や生徒と園児との交流を通して、園児にとって児童や生徒が憧れやモデルの存在になっている。
- ・昨年度のアンケート結果93.3%が、今年度87.5%と、子どもは地域や地域の方に親しみをもっている割合が減少している。コロナ禍の時に比べ、明らかに地域行事が増え、地域の方々との触れ合いは増えているが、特に4歳児クラスの子どもの割合が低かったことから、まだ地域行事や地域の方々との出会いや交流が少なかったためと考えられる。

分析を踏まえた取組の改善

- ・地域行事への参加や協力体制のあり方には、地域とのつながりを大切にしながら、PTAとともに過重な負担にならないよう検討し、改善を図る。
- ・「待賢カーニバル2024」に参加し、地域の人々と出会い、交流する。

(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標

- ・交流の回数や地域の方々の声
- ・アンケート項目 「子どもは幼稚園の取組で地域や地域の方に親しみをもっている」

学校関係者評価

学校関係者による意見・支援策

- ・待賢地蔵盆の開催は、50名近くの子どもたちが集まり、地蔵盆を経験し、保護者同士の関わり交流、地域の大人のボランティアに加え、中学生のボランティアとしての参画など、地域の伝統行事としていきたい。

最終評価

(中間評価時に設定した) 各種指標結果

自己

分析 (成果と課題)、重点目標の達成状況、次年度の課題

評価	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

## (6) 教職員の働き方改革について

重点目標	・教職員一人一人が生き生きとした姿で子どもと向き合い、心身ともに健康で豊かな生活を送る時間を確保する。
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノー残業デー（毎水曜日）と 18 時までの電話応対時間の徹底</li> <li>・業務共有ホワイトボードを活用し、校務支援員やボランティアと連携して業務を遂行する。</li> <li>・年休取得日数を前年度より増やす。</li> </ul>
(取組結果を検証する) 各種指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の時間外勤務時間 「1月あたり平均 30 時間以内」</li> <li>・年休取得日数 「1人あたり 10 日以上」</li> </ul>

### 中間評価

各種指標結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の時間外勤務時間 「1月あたり平均 30 時間以内」 … 「1月あたり平均 34 時間 46 分」</li> <li>・年休取得日数 「1人あたり 10 日以上」 … 「1人あたり平均 6.5 日」</li> </ul>
自己評価	<p>分析（成果と課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の働き方改革に向けて、教職員の意識改革と具体的な取組に努めようとしたが、時間外勤務の縮減につながっていない。とりわけ管理職の時間外勤務時間は、業務と勤務時間のずれが生じており、縮減には至っていない。</li> </ul> <p>分析を踏まえた取組の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職の時間外勤務時間縮減に向けて、実効ある取組を行う。</li> </ul> <p>(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の時間外勤務時間 「1月あたり平均 30 時間以内」</li> <li>・年休取得日数 「1人あたり 10 日以上」</li> </ul>
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の負担が過重である状況にある。</li> <li>・若い教員が自分の思いを言えなかったり、孤立化したり、疲弊している。</li> <li>・管理職が率先して働き方改革を実行しないと、教職員に届かないで、地域行事に管理職は参加しなくていいと伝えている。</li> </ul>

### 最終評価

(中間評価時に設定した) 各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策